被覆ワイヤー緊張器

HYK

被覆ワイヤーの緊張・固定が簡単に！

簡単操作で被覆ワイヤを緊張、固定し、緩み防止機能を搭載。
また、解体時には容易に被覆ワイヤを解除することが出来ます。

- ワイヤーが変形しにくい
- 転用性が良い
- 被覆をキズつけない
- 脱着が容易



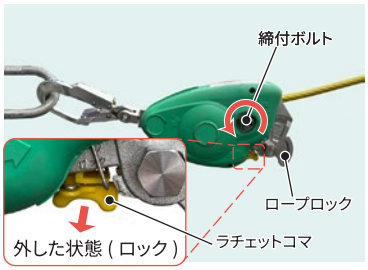
項目	サイズ
被覆ワイヤーロープ (片ロック・片シンプル加工)	9φ×11φ×10m
捻シャックル	16φ　メッキ

※8m・12m・15m につきましては、お問い合わせください。

取付手順

※出荷時は、本体とワイヤーを分けて出荷いたします。
※返却時は、本体からワイヤーを取り外してご返却ください。

1 ラチェットコマを外し、締付ボルトを止まるまで反時計回しする。



2 被覆ワイヤーを [⬅1][⬅2][3⬅] の方向に通す。



3 ラチェット操作で増締めし、被覆ワイヤーをしっかり張る。



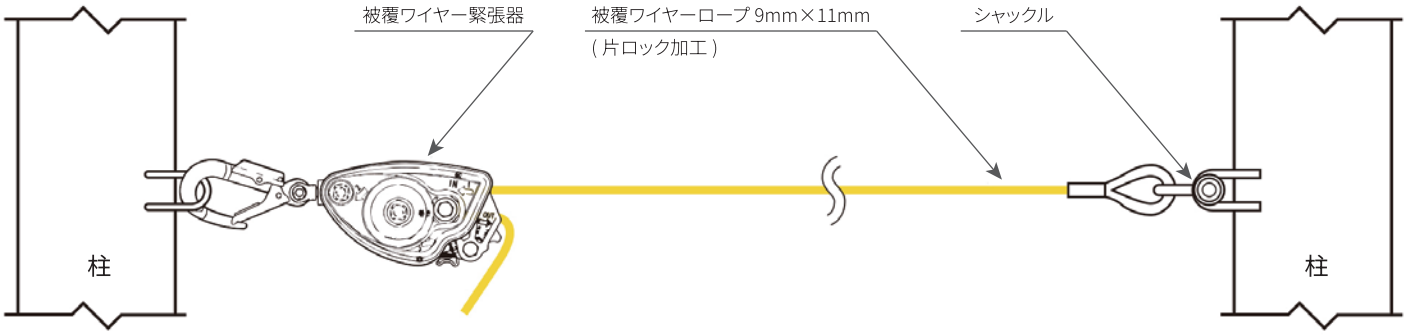
4 ロープロックをロックして取付完了。
※ラチェットコマは外した状態のまま OK



【取り外し手順】
①ラチェットコマをはめる（ロック解除）
②ロープロックを解除
③被覆ワイヤーを外す

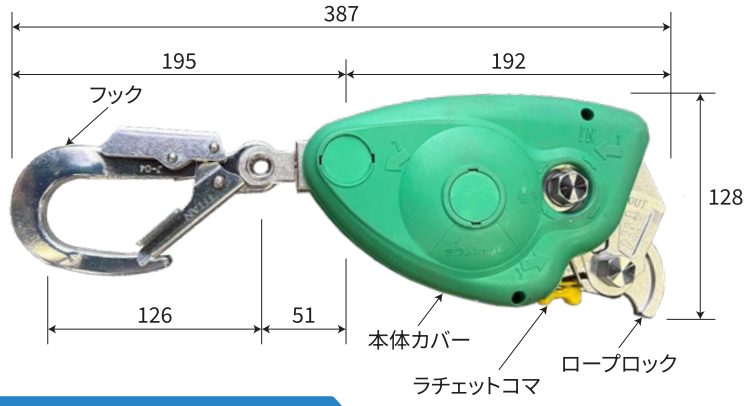


被覆ワイヤー設置イメージ図



仕様・寸法と名称

（単位：mm）



寸法	本体重量	被覆ワイヤ	最大張力	最大トルク
387mm(L) × 128mm(H) × 82mm(W)	2.52kg	φ9mm × φ11mm 専用	200kg （被覆ワイヤ 長 10m 時）	5.5N.m

落下阻止性能試験

（1）試験方法

試験方法図のように 10m の間隔に被覆ワイヤを張り、その一端に被覆ワイヤー緊張器及び荷重計を取り付ける。また、安全帯に掛かる衝撃荷重を測定するためランヤードにも荷重計を取り付ける。

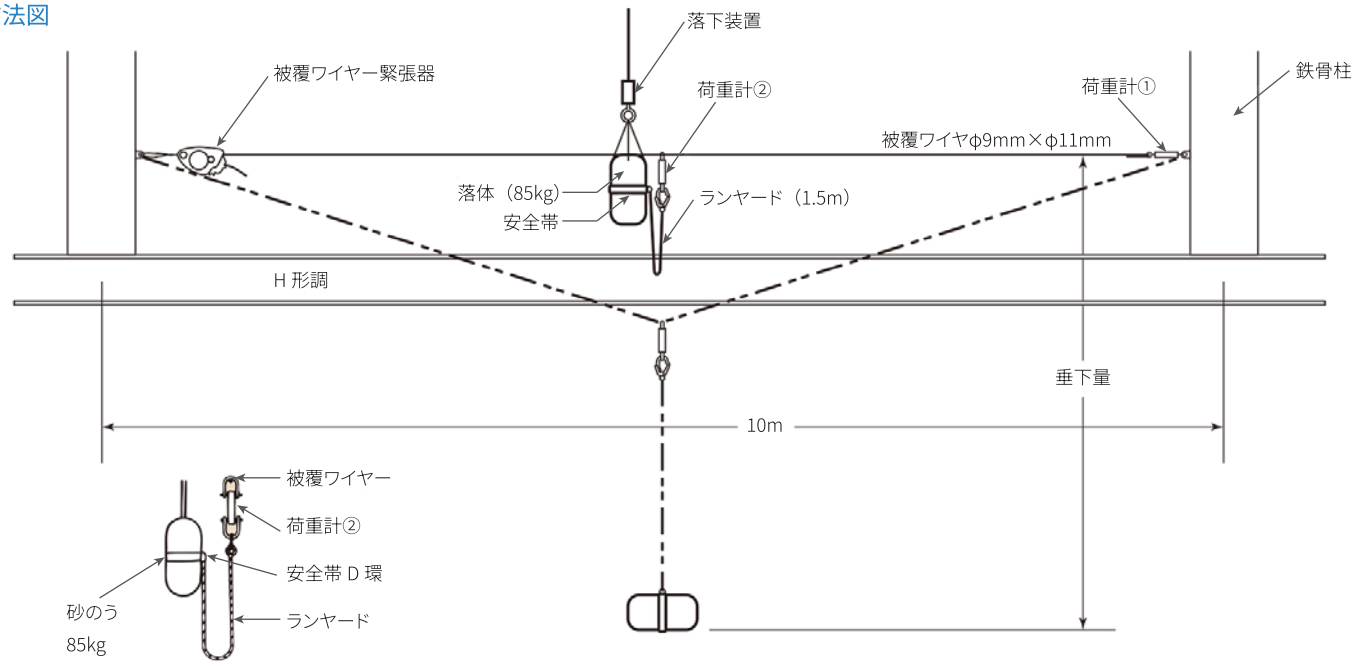
砂のうに安全帯を装着し、ランヤードのフック部に荷重計を取り付け、砂のうを自由落下させ、落下阻止時の被覆ワイヤ及びランヤードに掛かる衝撃荷重を測定する。なお、砂のうの落下位置は被覆ワイヤの中央で、砂のうに装着したランヤードの D 環が荷重計の取り付け位置と同じ高さになる位置とした。

（2）試験条件

被覆ワイヤ：φ9mm×φ11mm
落　下　帯：砂のう 85kg（100、110、130 実験済）
安　全　帯：A 種安全帯（ランヤード 1.5m）
荷　重　計：東京測器研究所　TLP-30KNB
動　歪　計：東京測器研究所　DC-104R
ビジグラフ：東京測器研究所　DC-7104

落下体	試験 No.	初期張力 (N)	ワイヤ取付部 衝撃過重 (KN) 荷重計①	ランヤード 衝撃過重 (KN) 荷重計②	垂直量 (m)	ワイヤ部すべり (mm) ワイヤ（入り）	ワイヤ部すべり (mm) ワイヤ（出）
85kg 使用	1	1.25	17.16	6.19	3.55	20	30
	2	1.20	18.03	6.45	3.55	15	25
	3	1.25	18.54	6.57	3.55	15	25
100kg 使用	1	1.20	19.32	7.08	3.35	20	30
	2	1.10	19.00	7.24	3.25	30	70
	3	1.20	19.35	7.38	3.25	10	50
110kg 使用	1	1.20	19.22	7.24	3.85	160	175
	2	1.20	21.93	8.74	3.90	10	30
	3	1.20	18.48	8.11	3.95	100	120
130kg 使用	1	1.15	23.47	9.57	3.70	10	40
	2	1.25	24.51	9.78	3.75	10	35
	3	1.25	18.66	8.63	4.55	150	190

試験方法図



株式会社 テクノジャパン　https://techjpn.co.jp/

■新橋　本社　□東京都港区新橋 2 丁目 4 番 5 号
不二ビルディング新橋 3 階
□TEL：03-5860-9563　□FAX：03-5860-9564

■商品センター　□埼玉県さいたま市岩槻区横根 1360-1
□TEL：048-798-9163　□FAX：048-798-9164